

MCF-N200NU SL

品番	MCF-N200NU SL		
製品コード	811 269 37 811 270 37		
電源	三相 200 V 50 Hz / 60 Hz		
冷媒の種類	R404A		
使用周囲温度範囲	-5 ~ 40		
凝縮器	形式	スリットフィンチューブ	
	ファンモータ	モータ型式	EE0Q-0TV-P2 × 4 ケ
		極数	6 P
		出力	150 W × 4
		巻線保護モータ	135 OFF、70 ON (2相切)
	ファン径	500 mm × 4 ケ	
	凝縮圧力制御	方式	マイコンデューティによる 0 % ~ 100 %回転数制御 (高・中・低切替可能)
		コントローラ	SPK-ECF152 SPK-ECF153
		センサ	KTEC-35 (0 ~ 40 で16 k ~ 2.7 k) [オプション]
	接続側管径	ガス入口	31.75 mm (外径溶接)
液出口		22.22 mm (外径溶接)	
外形寸法	高さ	1,063 mm	
	幅	2,400 mm	
	奥行	583 mm	
フィンガード	SPK-GA4009 (オプション) [2枚で1セット]		
製品質量	171 kg		
塗装色 (外装)	ハーモニーホワイト (マンセル 5Y-8.4/0.5)		
標準性能 A.T. 32 E.T. -10 三相 200 V	入力	50 Hz	950 W [全速運転時 : 990 W]
		60 Hz	1,310 W [全速運転時 : 1,400 W]
	運転電流	50 Hz	3.7 A [全速運転時 : 3.8 A]
		60 Hz	4.5 A [全速運転時 : 4.8 A]
	力率	50 Hz	74.1 % [全速運転時 : 75.2 %]
		60 Hz	84 % [全速運転時 : 84.2 %]
	ファン風量 (全速運転時)	50 Hz	17,760 m ³ /h (870 rpm)
		60 Hz	19,600 m ³ /h (950 rpm)
	回転数	50 Hz	870 min ⁻¹ (全速運転時)
		60 Hz	950 min ⁻¹ (全速運転時)
	始動電流	50 Hz	11.6 A
		60 Hz	10.8 A
騒音	50 Hz	54.5 dB(A)	
	60 Hz	56.0 dB(A)	

注) 1. SL は、JRA耐重塩害仕様品です。

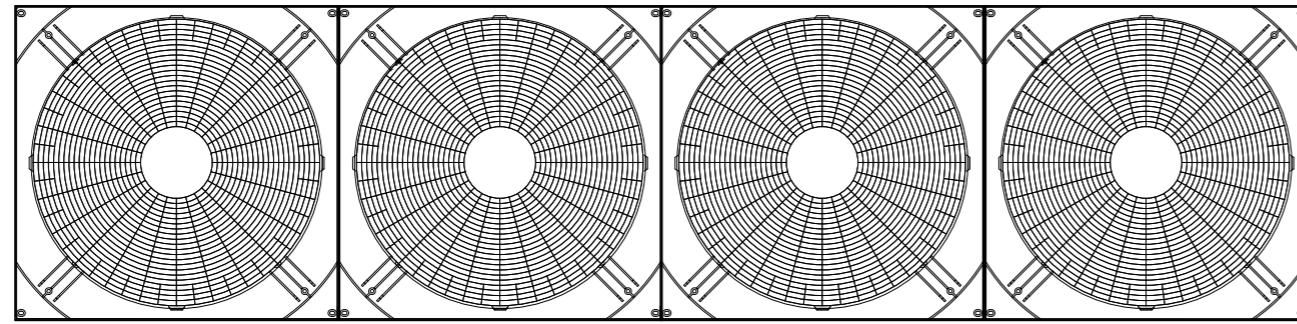
2. 当社推奨の漏電遮断器を取付け、D種接地工事をおこなってください。

3. 標準性能は、凝縮圧力コントローラ「低」モード時の値です。

4. 騒音特性は、マイクロホン位置が製品正面1 m × 1 mで、凝縮圧力コントローラ「高」モード時の値です。

MCF-N200NU (SL)

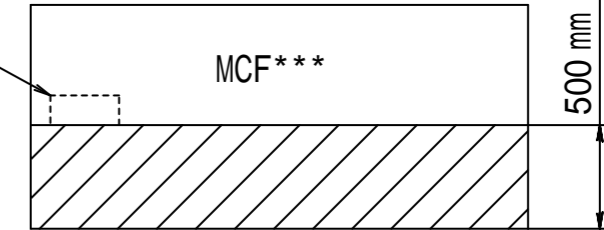
3D52700MF



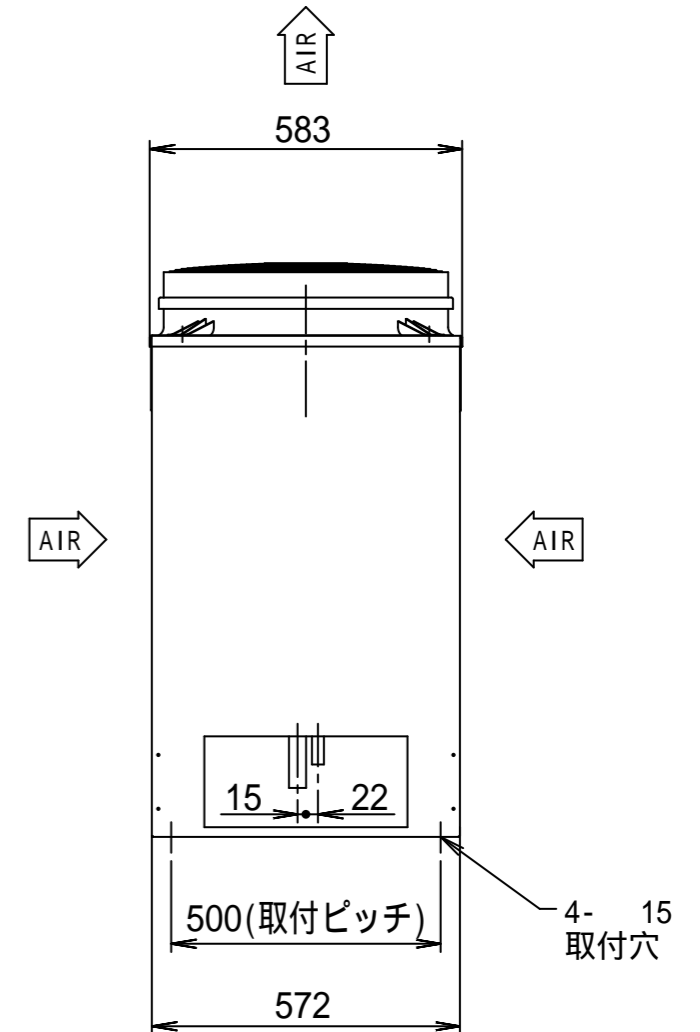
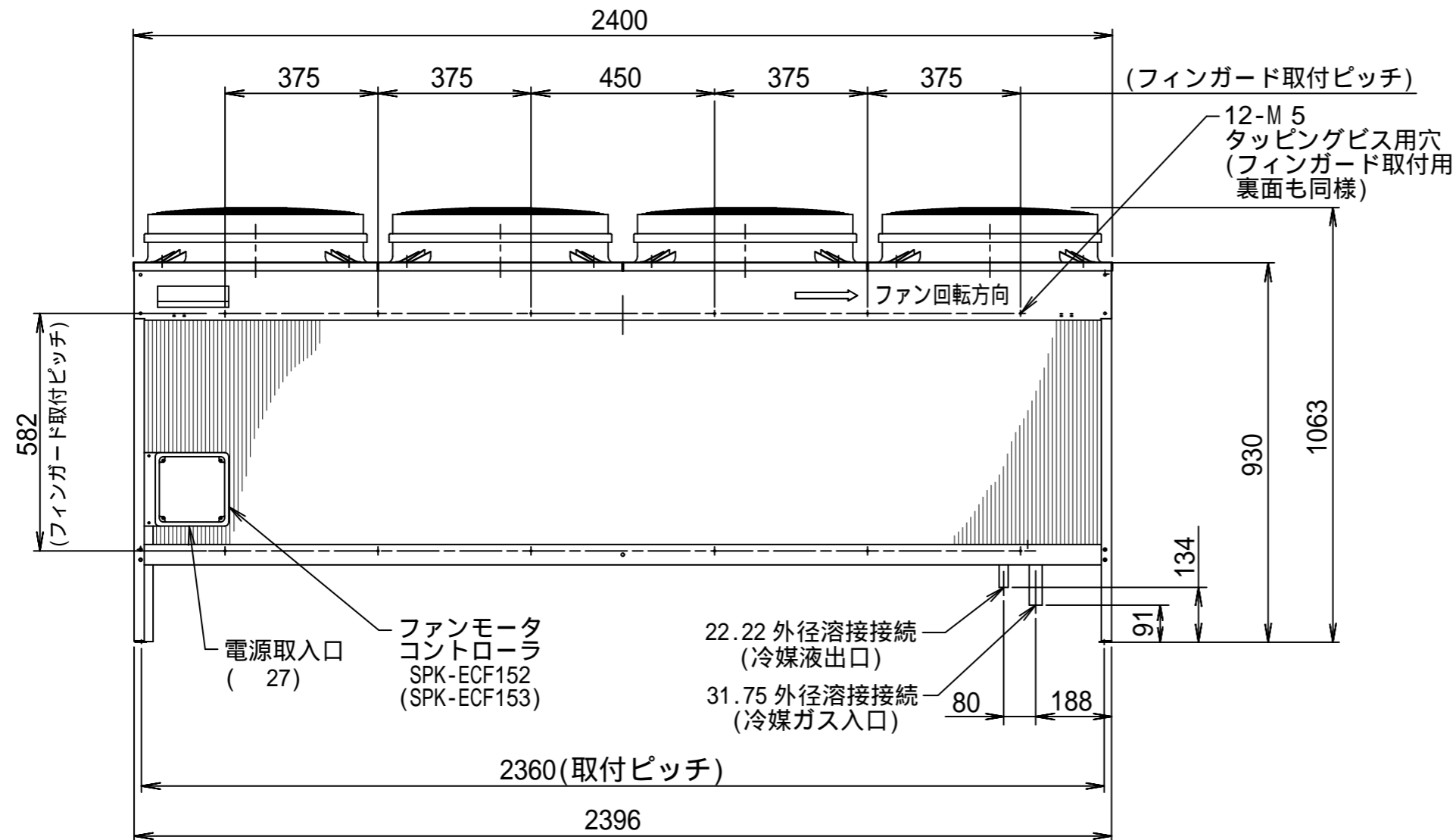
! 凝縮器フィンに手が触れるおそれがある場合は、フィンガード（オプション部品）を使用してください。

サービススペース

ファンモーター
コントローラ

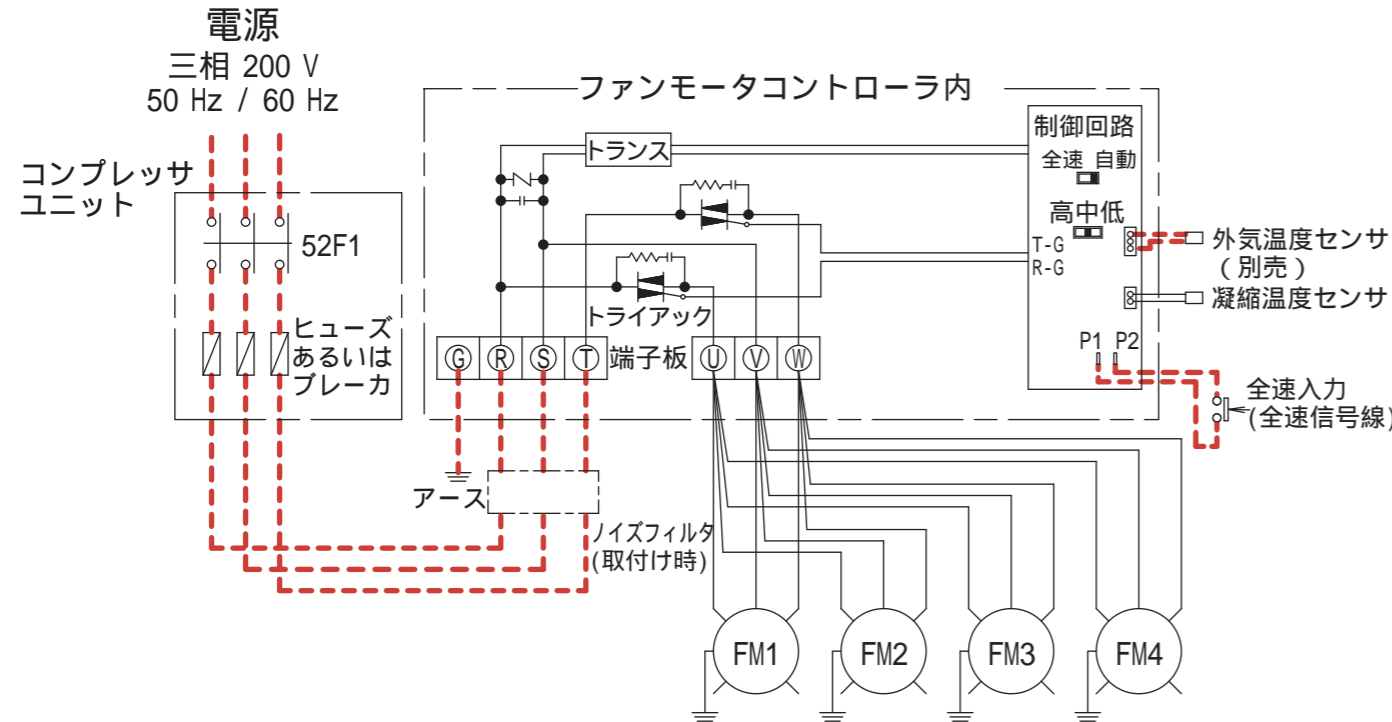


AIR ↑ 吹出方向



MCF-N200NU(SL)

3E23010MF



各スイッチの出荷設定と用途

スイッチ	用途及び設定							
	SW1				SW2			
SW1 SW2	1	2	3	4	1	2	3	4
	夜間低騒音モード用	高凝縮温度全速モード用	未使用	未使用	特性カーブ選択用	特性カーブ選択用	寒冷地モード用	検査プログラム用
	設定は別記				設定は別記			
SW3	凝縮圧力設定用：出荷設定—中							
SW4	全速・自動運転切換用：出荷設定—自動							

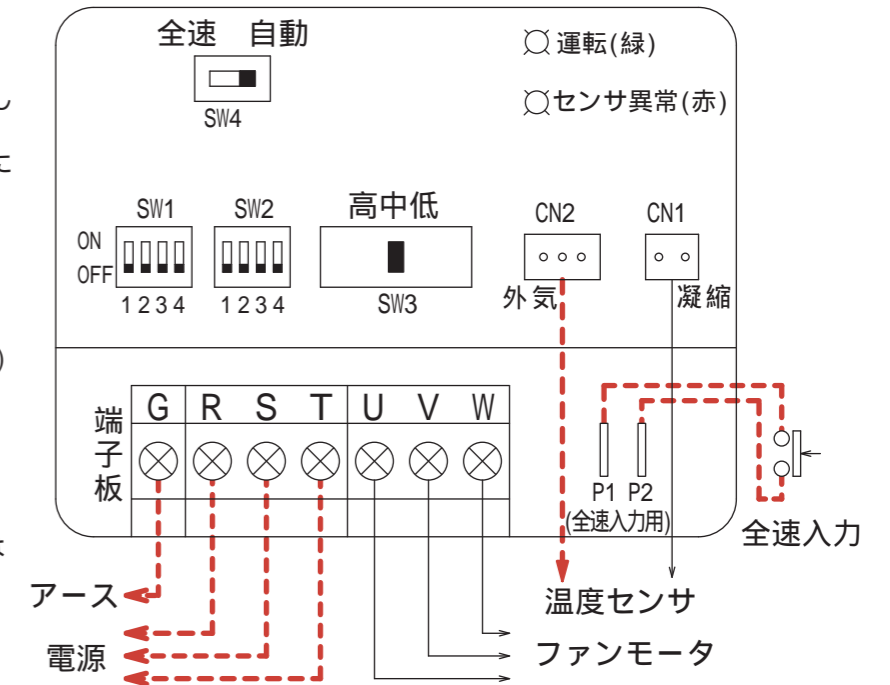
ファンモータコントローラ型式 SPK-ECF***				SW1				SW2			
				1	2	3	4	1	2	3	4
132	133	152	153	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
142	143			OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF

< ご注意 >

- 配線
電源とファンモータの接続は、配線図に従ってください。
- ファンモータの回転方向の確認
* 回転方向が、指定方向（左回転）通りであること。外気温が低い場合は（凝縮温度が約18以下）ファンが回転するまでに数分かかる場合があります。
* 逆回転の場合は電源を切り、R相とS相の電源線を入れ替えてください。
- 各種設定について（通常操作する必要は有りません）
 - 凝縮圧力設定スイッチ（SW3） - 中にて出荷
高：低騒音運転、ヒートリクレーム運転等
中：標準的な運転（凝縮圧力、騒音）
低：省エネ運転（騒音は高くなる）
 - 夜間低騒音モード（SW1-1） - OFFにて出荷
このスイッチをONすると、気温が25から30（熱帯夜等）の時、低騒音運転をします。（ただし、凝縮圧力設定が、中・低モードに設定時）
 - 高凝縮温度全速モード（SW1-2） - OFFにて出荷
このスイッチをONすると、凝縮温度が約48を超えると全速運転になります。（復帰温度：約41）
 - 全速-自動 切換スイッチ（SW4） - 自動にて出荷
サービス時等に全速スイッチをご利用ください。
 - 寒冷地モード（SW2-3） - OFFにて出荷
このスイッチをONすると、低外気温時（3以下）寒冷地用の特性カーブ運転になります。（凝縮温度：約48 全速/33 停止）
ただし、寒冷地対応ファンコンキットSPK-ECF230（外気温度センサ+高圧スイッチ：セットで別売）が必要です。
注：SW2は、寒冷地モード用のNo3以外は変更しないでください。
外気温度センサなしで、寒冷地モードを選択すると、2.5秒間隔でセンサ異常LEDが点滅し全速運転になります。
- 表示灯
運転中：緑色ランプ点灯（正常な制御状態にある場合、緑色ランプが点灯します）
温度センサ異常時：赤色ランプ点滅（2.5秒間隔は外気温度、0.5秒間隔は凝縮温度）
（オープン、ショート）赤色ランプ点灯（外気温度、凝縮温度の両センサ異常）
ただし、外気温度センサ異常はSW1-1またはSW2-3がON時のみ表示します。
- 進相コンデンサの配線
進相コンデンサを接続する場合は、ファンモータコントローラの1次側に接続してください。
2次側（U, V, W端子）に接続するとトライアックが破壊します。

- 電波障害について
ユニット及び電源電線の近傍でラジオを受信した場合、雑音が出る場合があります。電源電線は金属管施工を推奨します。また金属管はラジオ受信地域より2m以上離してください。
または、以下のノイズフィルタを配線図のように接続し、ファンコントローラ近傍に設置してください。
なお、ノイズフィルタは防雨処理をしてください。
* ノイズフィルタ型式
NF3010A-Z, LF3010A-OE（双信電機）
- ファンモータコントローラ故障時
万一、ファンモータコントローラが故障した場合は、運転モード切換スイッチ（SW4）を全速にすると全速運転ができます。ただし、地絡状態では運転できません。
- 全速入力用端子（P1, P2）について
圧力上昇時に閉となる接点（DC5V, 10mA定格）を接続すると、強制的に全速運転にすることができます。
コンプレッサユニットに付属されている全速信号線を利用ください。
- コンプレッサユニット内の52F1とヒューズ（ブレーカの場合もあり）の位置は機種により異なります。

スイッチ類配置図



⚠ この製品をご使用になる場合は、漏電遮断器の設置とアース配線工事が必要です。

- 図面は実測しないでください。
- この資料は平成24年5月現在のものです。

MCF-N200NU(SL)

(空冷条件)

<条件>	
冷媒	R404A
周囲温度	32
凝縮温度	-
蒸発温度	-10
電圧	200 V
1 m × 1 m 正面中央	

騒音計：Aレンジ(50 Hz / 60 Hz)	
54.5 / 56.0 ± 3 dB(A)	

— 60 Hz, AT 32
- - - 50 Hz, AT 32

